

包括的な学校改善の推進に向けた校長のマネジメント

中核校	名寄市立風連中央小学校	指定校	名寄市立名寄西小学校、名寄市立名寄南小学校 名寄市立中名寄小学校、名寄市立名寄中学校 名寄市立風連中学校
-----	-------------	-----	--

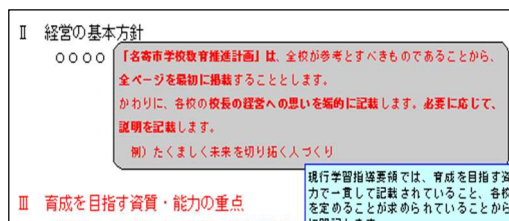
実践前の状況

- ・学校経営計画について、短いスパンでの検証改善サイクルの運用が十分ではなかった。
- ・ミドルリーダーの学校経営への参画意識の醸成に課題があった。

実践の概要

市内共通モデルによる学校経営計画の作成と検証改善サイクルの運用

- ・重点的な取組を「教育課程」「生徒指導」「特別支援教育」「学校力」「予算・教育環境整備」の5点に集約し評価基準を設定することにより、学校経営の明確化を図るとともに、短いスパンでの検証改善サイクルの運用を図った。
- ・北海道教育推進計画及び名寄市学校教育推進計画との関連を明確にするとともに、具体的な目標を設定し、家庭・地域に説明責任を果たす「学校マニフェスト」としての役割の充実を図った。



【市内共通モデルによる学校経営計画】

働き方改革の推進に向けた人材育成

- ・各校のコアチーム(働き方改革推進委員会)を中核として、NAYORO STAR ACTION(名寄市働き方改革指標)の実践と検証を行い、改善を図った。
- ・名寄市教育研究所のスクールリーダー研修を活用し、ミドル世代の組織への関わり方についての意識の変容や理解を促すことにより、教務主任を中心としたスクールリーダーの育成を図った。



【働き方改革の推進に向けた人材育成】

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・学校経営計画の作成に当たっては、重点教育目標及び育てたい子どもの姿を明確に示すとともに、教職員・児童生徒・保護者・地域住民等が参画できるよう、学校評価や学校運営協議会を活用した。
- ・北海道の学校における働き方改革手引「Road」における「働き方改革を推進する8つのプロセス」を踏まえ、コアチームの目標や役割、責任を明確にし、教職員の心理的安全性を確保した取組を進めた。

〔教職員の取組〕

- ・スクールリーダーが中心となって、自校の働き方改革を推進するとともに、学校間で業務の進捗状況や好事例を交流し、次年度の学校経営方針に盛り込めそうな観点について整理した。

成果()と今後の課題()

重点的な取組とその評価基準を明確にした学校経営計画に基づいて、短いスパンでの検証改善サイクルの運用を進めたことにより、教育活動の内容の見直しや精選が図られた。

〔教職員アンケート：「スクラップ&ビルドを観点とした行事や教育活動の精選、内容の見直しによる、教育内容の質的向上」R4:81.4% R5:83.9%〕

スクールリーダーを中心とした働き方改革の推進により、業務の負担軽減が図られた。

〔教職員アンケート：「コアチームの活動や取組に主体的な協力」R4:71.9% R5:92.2%〕

今後は、業務の量的削減だけでなく、業務の質的向上の視点からの働き方改革を進める必要がある。